

2019年度 詳説世界史講義 復習テスト (問題)

～ 西洋史 第12講 ～

プロイセン

18世紀初め、(1) [土地貴族]を用いて軍国主義的な絶対王政の基礎が築かれた。18世紀半ばに即位した(2)は、フランスの(3)らの啓蒙思想家を宮廷にまねき、自著で「(4)」と称して内政の改革につとめた。また、ベルリン郊外に、(5) 宮殿を造営し、文化的な繁栄も謳歌した。対外的には、オーストリアの(6)の即位をめぐる戦争に乗じて、鉦工業地帯の(7)地方を占領した。

オーストリア

(6)は1756年にはじまった(8)戦争でプロイセンを苦戦させたが、奪われた領土は回復できなかった。しかし、内政面では、行政や軍制の改革を断行し、絶対主義体制を築いた。その子(9)も中央集権化をはかり、税制改革や農奴解放をおこなったが、貴族らの抵抗にあって挫折した。

ロシア

この王朝の全盛期を築いた(10)は、西欧化政策を積極的に推進し、工業の育成や官僚制度の整備に取り組み、絶対主義の基礎を築いた。対外的には、オスマン帝国と戦ってアゾフ海に進出する一方、(11)【国名】との戦争で勝利して、バルト海に進出し、「西欧への窓」として新首都(12)を建設した。その後、18世紀後半には、(13)が、南方では黒海北岸を獲得し、東方ではオホーツク海への進出をはたした。また、西方では(14)分割に加わり、勢力をのびした。国内では中央集権化をはかったが、(15)の農民反乱を鎮圧すると、貴族らに特権を認めて農奴制を強化した。

問1. 空欄1～15に当てはまる用語を書きなさい。

問2. それぞれの国の下線部に関する問題に答えなさい。

16 プロイセン) この基礎が完成するまでのプロイセンの歴史と最も関係の薄いものを1つ選べ。

A: ドイツ騎士団領 B: ルクセンブルク選帝侯 C: スペイン継承戦争 D: カルヴァン派受入れ

17 オーストリア) この戦争と同時期に植民地で行われていた戦争と最も関係の薄いものを1つ選べ。

A: ジブラルタル B: カナダ C: パリ条約 D: クライヴ

18 ロシア) ①この北岸にあり、ロシアに併合された国の名前を書きなさい。

19 ロシア) ②文章中の間違っているところを2カ所、正しく直しなさい。(各点)

ピアスト朝滅亡後、選挙王制となったこの国を1770年代に初めて3国で分割した。第2回はプロイセンが不参加であったことに乗じて、愛国者コシューシコが抵抗を続けたが、第3回の1795年に完全に地図上から消滅した。

1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10		11		12	
13		14		15		16	
17		18		19			

2018年度 詳説世界史講義 復習テスト（解答）

～ 西洋史 第12講 ～

プロイセン

18世紀初め、(1) [土地貴族]を用いて軍国主義的な絶対王政の基礎が築かれた。18世紀半ばに即位した(2)は、フランスの(3)らの啓蒙思想家を宮廷にまねき、自著で「(4)」と称して内政の改革につとめた。また、ベルリン郊外に、(5) 宮殿を造営し、文化的な繁栄も謳歌した。対外的には、オーストリアの(6)の即位をめぐる戦争に乗じて、鉦工業地帯の(7)地方を占領した。

オーストリア

(6)は1756年にはじまった(8)戦争でプロイセンを苦戦させたが、奪われた領土は回復できなかった。しかし、内政面では、行政や軍制の改革を断行し、絶対主義体制を築いた。その子(9)も中央集権化をはかり、税制改革や農奴解放をおこなったが、貴族らの抵抗にあって挫折した。

ロシア

この王朝の全盛期を築いた(10)は、西欧化政策を積極的に推進し、工業の育成や官僚制度の整備に取り組み、絶対主義の基礎を築いた。対外的には、オスマン帝国と戦ってアゾフ海に進出する一方、(11)【国名】との戦争で勝利して、バルト海に進出し、「西欧への窓」として新首都(12)を建設した。その後、18世紀後半には、(13)が、南方では黒海北岸を獲得し、東方ではオホーツク海への進出をはたした。また、西方では(14)分割に加わり、勢力をのびした。国内では中央集権化をはかったが、(15)の農民反乱を鎮圧すると、貴族らに特権を認めて農奴制を強化した。

問1. 空欄1～15に当てはまる用語を書きなさい。

問2. それぞれの国の下線部に関する問題に答えなさい。

16 プロイセン) この基礎が完成するまでのプロイセンの歴史と最も関係の薄いものを1つ選べ。

A: ドイツ騎士団領 B: ルクセンブルク選帝侯 C: スペイン継承戦争 D: カルヴァン派受入れ

17 オーストリア) この戦争と同時期に植民地で行われていた戦争と最も関係の薄いものを1つ選べ。

A: ジブラルタル B: カナダ C: パリ条約 D: クライヴ

18 ロシア) ①この北岸にあり、ロシアに併合された国の名前を書きなさい。

20 ロシア) ②文章中の間違っているところを2カ所、正しく直しなさい。(各点)

ピアスト朝滅亡後、選挙王制となったこの国を1770年代に初めて3国で分割した。第2回はプロイセンが不参加であったことに乗じて、愛国者コシューシコが抵抗を続けたが、第3回の1795年に完全に地図上から消滅した。

1	ユンカー	2	フリードリヒ2世	3	ヴォルテール	4	君主は国家第一の僕
5	サンスーシ	6	マリア=テレジア	7	シュレジエン	8	七年
9	ヨーゼフ2世	10	ピョートル1世	11	スウェーデン	12	ペテルブルク
13	エカチェリーナ2世	14	ポーランド	15	プガチョフ	16	B
17	A	18	クリム=ハン国	19	ピアスト → ヤゲウォ		プロイセン →オーストリア